

第74期

事業報告書

平成14年4月1日から
平成15年3月31日まで



小倉クラッチ株式会社

目 次

会社の概況	1
営業報告書	2
貸借対照表	7
損益計算書	8
利益処分	12
役員	13
株主メモ	14

会 社 の 概 況

商 号 小倉クラッチ株式会社
設 立 昭和23年5月25日
資 本 金 1,858,806,000円
従 業 員 数 964名 (平成15年3月31日現在)

営 業 品 目

輸 送 機 器 用 ク ラ ッ チ
マ イ ク ロ ク ラ ッ チ
一 般 産 業 用 ク ラ ッ チ
機 械 ・ 特 殊 ク ラ ッ チ
そ の 他

営業報告書

(平成14年4月1日から)
(平成15年3月31日まで)

平成14年4月1日から平成15年3月31日までの第74期についての営業の概況をご報告申し上げます。

当期におけるわが国経済は、一時的には景気の持ち直しの動きが見えてまいりましたが、金融不安による株価の大幅な下落やデフレ経済の蔓延により、企業の設備投資意欲の減退と個人消費の低迷が続いております。また、世界的な株価の低迷やドル安に加え、イラク情勢を巡る国際情勢が不安定のなか、世界経済は先行きに不透明感を残し推移いたしました。

当社製品の主要需要先である自動車業界におきましては、国内販売はコンパクトカーの投入による好調な販売を確保し、国内の自動車メーカーの輸出増による増産効果もあり、売上高は増加に転じました。一方、海外における自動車販売は、経済情勢の悪化により、総じて不振でした。

このような状況のもとで、当社は積極的な販売活動を行った結果、輸送機器用クラッチ部門は国内の自動車販売に牽引され好調に推移し、前期に比べ14.7%の売上増となりました。また、マイクロクラッチ・一般産業用クラッチ部門は、企業の設備投資が回復しない厳しい環境下、OA業界向け需要が減少したものの、自動車分野への用途拡大による需要が増加したことに加え、モーター関連業界向けの需要が復調し、前期に比べて3.2%の売上増となりました。

結果として、当期の売上高は、前期に比べて7.4%増の32,161百万円に達しました。利益面におきましては、依然厳しいコストダウン要求はあるものの、生産性の向上や原価低減活動の推進および操業度の上昇により、営業利益は前期と比べて、172.8%増の1,101百万円に、経常利益は87.0%増の1,333百万円に、当期利益も273.2%増の932百万円となりました。

今後の見通しにつきましては、新型肺炎（SARS）の影響や長引くデフレ不況により、景気の先行きに対して不透明な要因が多く、景気の本格的な回復は期待できないものと予想されます。このような状況のなかで、当社は徹底した原価低減を実施するとともに、付加価値の高い新製品開発に注力してまいります。また、中国子会

社工場を早期に立ち上げ、世界最適地生産と新市場の開拓を図る予定であります。

当期の利益配当金につきましては、前期と同様1株につき12円の配当を実施することに決定いたしました。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

業績の推移

区分	年度	第71期	第72期	第73期	第74期(当期)
		平成12年3月期	平成13年3月期	平成14年3月期	平成15年3月期
売上高(百万円)		33,456	34,516	29,940	32,161
当期利益(百万円)		514	863	250	932
1株当たり当期利益(円)		33.12	55.61	16.41	60.11
総資産(百万円)		33,502	34,463	33,418	35,953
純資産(百万円)		12,632	13,672	13,394	14,043
1株当たり純資産(円)		813.28	880.20	879.42	929.29

(注) 1株当たり当期利益および1株当たり純資産は、第73期までは期末発行済株式総数に基づき算出しております。なお、第73期は自己株式を資本に対する控除項目としており、1株当たり当期利益および1株当たり純資産は発行済株式の総数から自己株式数を控除して算出しております。また、第74期(当期)より、1株当たり当期利益は「1株当たり当期純利益に関する会計基準」等(会計基準委員会)を適用し、期中平均株式数に基づき算出しております。

株式の状況

株式の総数

発行する株式の総数	60,000,000株
発行済株式の総数	15,533,232株

株式の異動

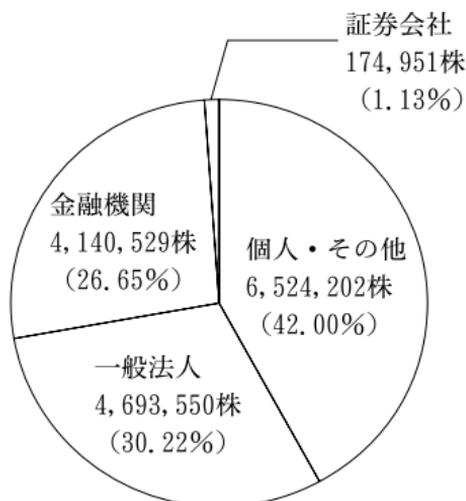
名義書換件数	116件
名義書換株式数	2,532,190株
当期末株主数	1,530名
前期末比較	67名減

大株主（上位10名）

株主名	持株数
小倉康宏	1,486 ^{千株}
第一共栄ビル株式会社	1,347
株式会社群馬銀行	744
株式会社東和銀行	742
有限会社アイ・オー	684
株式会社みずほ銀行	586
日本スタートラスト信託銀行株式会社 （退職給付信託口・株式会社ボッシュ） （オートモーティブシステム口）	467
小倉正士	466
小倉真木	334
株式会社損害保険ジャパン	301

- (注) 1. 小倉一郎氏（平成14年5月5日逝去、当時当社代表取締役社長）名義の株式は（当時所有株式数1,274千株）、小倉康宏氏に1,074千株、小倉真木氏に200千株、それぞれ相続されました。
2. 当社は自己株式を421千株所有しておりますが、当該株式には議決権がないため、上記の大株主には含めておりません。
3. 株式会社みずほ銀行の完全親会社である株式会社みずほホールディングスは、平成15年3月12日をもって株式会社みずほフィナンシャルグループと株式交換を行い、その完全子会社となりました。当社は株式会社みずほ銀行への出資はありませんが、株式会社みずほフィナンシャルグループの株式（持株数88株・議決権比率0.0%）を所有しております。
4. 日本スタートラスト信託銀行株式会社はこの他に20千株所有しており、上記株式を含めると487千株所有しております。
5. 当社は株式会社ボッシュオートモーティブシステムの株式を111千株（議決権比率0.0%）所有しております。
6. 安田火災海上保険株式会社と日産火災海上保険株式会社は、平成14年7月1日に合併し、株式会社損害保険ジャパンとなっております。

所有者別株数分布



主要な営業所および工場

本社・営業所

名称	所在地	名称	所在地
本社	群馬県桐生市相生町	北陸営業所	石川県金沢市新神田
東京営業所	東京都港区	広島営業所	広島県広島市南区
大阪営業所	大阪府大阪市住吉区	九州営業所	福岡県福岡市博多区
名古屋営業所	愛知県名古屋市南区		

工場

名称	所在地	主な製造品目
第一工場	群馬県桐生市相生町	一般産業用クラッチ
第二工場	群馬県桐生市相生町	機械・特殊クラッチ
第三工場	群馬県桐生市相生町	マイクロクラッチ
赤堀工場	群馬県佐波郡赤堀町	輸送機器用クラッチ
香林工場	群馬県佐波郡赤堀町	輸送機器用クラッチ

庶務の概況

株主総会

平成14年6月27日桐生市錦町三丁目1番25号、桐生商工会議所6階『ケービックホール』において、第73回定時株主総会を開催し、次のとおり決議されました。

第1号議案 第73期利益処分案承認の件
本件は、原案のとおり承認可決されました。
(利益配当金は、1株につき12円と決定)いたしました。

第2号議案 自己株式取得の件
本件は、原案どおり次期定時株主総会終結の時までに、当社普通株式80万株、取得価額の総額7億円を限度として取得することに承認可決されました。

第3号議案 定款一部変更の件
本件は、原案どおり承認可決されました。

第4号議案 取締役2名選任の件
本件は、取締役に松村正夫、下城健司の両氏が選任され、それぞれ就任いたしました。

登記事項

当期中、下記のとおり登記をいたしました。

1. 平成14年5月17日登記
平成14年5月5日付退任（死亡）
代表取締役 小倉一郎
2. 平成14年5月17日登記
平成14年5月6日付就任
代表取締役 小倉康宏
3. 平成14年7月1日登記
平成14年6月27日付就任
取 締 役 松村正夫、下城健司
4. 平成15年3月12日登記
平成15年3月12日変更
名義書換代理人の氏名及び住所並びに営業所の
変更に関する登記

貸 借 対 照 表

(平成15年 3 月31日現在)

(単位：百万円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	23,226	流動負債	16,924
現金・預金	3,635	支払手形	8,659
受取手形	4,515	買掛金	1,919
売掛金	10,187	短期借入金	989
有価証券	76	一年以内に返済する長期借入金	912
製品	551	一年以内に償還する転換社債	3,000
原材料・貯蔵品	414	未払金	307
仕掛品	2,160	未払法人税等	343
前払費用	9	未払消費税等	150
繰延税金資産	169	賞与引当金	415
未収入金	345	設備関係支払手形	70
短期貸付金	1,170	その他の流動負債	155
その他の流動資産	6	固定負債	4,984
貸倒引当金	△ 15	長期借入金	4,597
固定資産	12,726	役員退職慰労引当金	272
有形固定資産	5,851	退職給付引当金	114
建物	1,813	その他の固定負債	0
構築物	109	負債合計	21,909
機械装置	1,608		
車輻運搬具	50	資 本 の 部	
工具器具・備品	462	資本金	1,858
土地	1,763	資本剰余金	1,798
建設仮勘定	44	資本準備金	1,798
無形固定資産	23	利益剰余金	10,389
投資等	6,851	利益準備金	354
投資有価証券	1,818	別途積立金	8,603
子会社株式	3,525	当期末処分利益	1,432
敷金	179	(うち当期利益)	(932)
長期前払費用	70	株式等評価差額金	218
繰延税金資産	9	その他有価証券評価差額金	218
長期貸付金	1,022	自己株式	△ 222
その他の投資等	227	資本合計	14,043
貸倒引当金	△ 2	負債・資本合計	35,953
資産合計	35,953		

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
 2. その他の注記事項は「11頁」をご参照ください。

損 益 計 算 書

(平成14年4月1日から
平成15年3月31日まで)

(単位：百万円)

科 目		金	額
経 常 損 益 の 部	営業収益		
	売上高		32,161
	営業費用		
	売上原価	28,103	
	販売費及び一般管理費	2,956	
	営業利益		1,101
	営業外収益		
	受取利息及び配当金	201	
	その他の営業外収益	161	363
	営業外費用		
支払利息	90		
その他の営業外費用	40	131	
	経常利益		1,333
特 別 損 益 の 部	特別利益		
	固定資産売却益	0	
	貸倒引当金戻入額	19	
	生命保険収入	670	690
	特別損失		
	固定資産売却損	3	
	固定資産除却損	7	
	投資有価証券売却損	3	
	投資有価証券評価損	60	
	役員退職慰労金	190	
	会員権評価損	1	
	退職給付会計変更時差異償却	200	466
		税引前当期利益	
	法人税、住民税及び事業税		492
	法人税等調整額		131
	当期利益		932
	前期繰越利益		499
	当期末処分利益		1,432

- (注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
2. その他の注記事項は「11頁」をご参照ください。

重要な会計方針

1. 有価証券の評価基準および評価方法

- (1) 満期保有目的の債券 …… 償却原価法
 - (2) 子会社株式 …………… 移動平均法による原価法
 - (3) その他有価証券
 - 時価のあるもの …………… 期末日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部資本直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定しております。）
 - 時価のないもの…………… 移動平均法による原価法
- なお、債券については償却原価法

2. たな卸資産の評価基準および評価方法

- (1) 製品および仕掛品…………… 先入先出法による原価法
- (2) 原材料 …………… 移動平均法による原価法
- (3) 貯蔵品 …………… 最終仕入原価法による原価法

3. 固定資産の減価償却方法

- (1) 有形固定資産 …………… 定率法によっております。

なお、耐用年数および残存価額については、法人税法に規定する方法と同一の基準によっております。

ただし、平成10年4月1日以降取得した建物（建物付属設備は除く）については定額法によっております。
- (2) 無形固定資産 …………… 定額法によっております。

なお、耐用年数については法人税法に規定する方法と同一の基準によっております。

ただし、ソフトウェア（自社利用分）については、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。
- (3) 長期前払費用 …………… 均等償却によっております。

なお、償却期間については法人税法に規定する方法と同一の基準によっております。

4. 引当金の計上方法

- (1) 貸倒引当金 …… 債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権について貸倒実績率により回収不能見込額を計上しております。
- (2) 賞与引当金 …… 従業員の賞与の支給に充てるため、支給見込額基準により計上しております。
- (3) 役員退職慰労引当金 …… 役員退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上しております。

なお、役員退職慰労引当金は商法第287条ノ2に規定する引当金であります。
- (4) 退職給付引当金 …… 従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務および年金資産の見込額に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上しております。

- | | |
|---------------|---|
| 5. リース取引の処理方法 | リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。 |
| 6. 消費税等の会計処理 | 税抜方式によっております。 |

会計方針の変更

1. 自己株式及び法定準備金の取崩等に関する会計基準
当期から「自己株式及び法定準備金の取崩等に関する会計基準」（企業会計基準委員会）を適用しております。この変更にともなう損益に与える影響は軽微であります。
なお、商法施行規則の施行により、当期における貸借対照表の資本の部については、商法施行規則により作成しております。
2. 1株当たり当期純利益に関する会計基準
当期から「1株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準委員会）および「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準委員会）を適用しております。なお、この変更にともなう金額の影響は軽微であります。

貸借対照表の注記

1. 子会社に対する短期金銭債権 ……………1,053百万円
 " 長期金銭債権 …………… 948百万円
 " 短期金銭債務 …………… 222百万円
2. 有形固定資産の減価償却累計額 ……………14,351百万円
3. 担保に供している資産
 土 地 ……………61百万円
 建 物 ……………16百万円
4. 主な外貨建資産および負債
 売 掛 金 (9,466千米ドル、11,320千ユーロ) ……………2,579百万円
 子会社株式 (14,264千米ドル、6,097千ユーロ、8,338千リアル、9,000千リンギット)
 ……………3,306百万円
5. 受取手形割引高 …………… 1,420百万円
6. 債権譲渡した売掛債権の期末残高 ……………300百万円
7. 保証債務 ……………1,754百万円
8. 1株当たり当期利益 ……………60円11銭
9. 貸借対照表に計上した固定資産のほか、クラッチ・ブレーキ製造設備の一部ならびに電子計算機およびその周辺機器一式についてはリース契約により使用しております。
10. 商法第290条第1項第6号に規定する純資産 ……………218百万円
11. 期末における発行済株式の種類および総数
 普 通 株 式 ……………15,533,232株
12. 期末に保有する自己株式の種類および総数
 普 通 株 式 ……………421,225株

損益計算書の注記

1. 子会社に対する売上高 …………… 466百万円
2. 子会社からの仕入高 …………… 464百万円
3. 子会社に対するその他取引高 …………… 119百万円

利 益 処 分

科 目	金 額
当 期 未 処 分 利 益	1,432,714,292
これを次のとおり処分いたします。	
利 益 配 当 金 (1株につき12円)	181,344,084
取 締 役 賞 与 金	23,000,000
別 途 積 立 金	800,000,000
次 期 繰 越 利 益	428,370,208

円

(注) 利益配当金は、自己株式421,225株分を除いております。

役員

(平成15年 3月31日現在)

代表取締役社長	宏彦
取締役専任	康俊
取締役専任	倉澤
取締役専任	小澤
取締役専任	大竹
取締役専任	野善
取締役専任	塚直
取締役専任	上春
取締役専任	田東
取締役専任	内正
取締役専任	島圓次郎
取締役専任	沼愛一郎
取締役専任	石神
取締役専任	松村
取締役専任	下城
取締役専任	浮田
取締役専任	小倉
取締役専任	山倉
常勤監査役	下山博造
常勤監査役	堀山博幹
監査役	鈴木康郎

(ご参考)

1. 監査役下山博造、監査役鈴木康郎の両氏は、「株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律」第18条第1項に定める社外監査役の要件を満たしております。
2. 取締役・監査役の異動
 取締役 下城健司 平成15年6月27日付退任

株主メモ

決算期	毎年3月31日
基準日	毎年3月31日 その他臨時に必要な場合には、あらかじめ公告いたします。
配当金受領株主確定日	毎年3月31日
1単元の株式の数	1,000株
定時株主総会	毎年6月下旬
名義書換代理人	東京都千代田区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
(郵便物送付先) (電話お問合せ先)	〒135-8722 東京都江東区佐賀一丁目17番7号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 (03)5213-5213
同 取 次 所	みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 みずほインバスターズ証券株式会社 本店および全国各支店
公告掲載新聞	日本経済新聞
決算公告のホームページのご案内	なお、当会社の決算公告は、今期より定款紙による決算公告に代えて、貸借対照表および損益計算書を当会社のホームページ (http://www.oguraclutch.co.jp/kessankoukoku.html)に掲載することとしましたので、こちらでご覧いただけます。